

海ごみ減らそうフォーラムの結果について

1 目的

海ごみが内陸部も含めた県内全域の問題であることから、NPO、企業、行政等多様な主体が連携・協力しながらそれぞれの立場で海ごみ問題に取り組んでいく契機とするため、「海ごみ減らそうフォーラム」を開催する。

2 概要

(1) 日時等

日 時：平成29年11月25日（土）午前9時30分～午後4時

会 場：岡崎市役所 福祉会館 6階ホール

主 催：愛知県

参加者：80名（行政、企業、NPO等）

(2) 進行

午前 フィールドワーク

猿渡川、家下川（矢作川との合流地点付近）

午後 国、岡崎市、NPO等の発表

グループ討議

総評

大阪大学 青木教授

愛知県海岸漂着物対策推進協議会座長

（矢作川流域圏懇談会海部会会長）

(3) 取組発表者について

ア 国の取組発表

環境省海洋環境室 松崎室長補佐

国土交通省河川環境課 榊井企画専門官

豊橋河川事務所 末松副所長（矢作川流域圏懇談会について発表）

イ NPO等の取組発表

一般社団法人JEAN 小島事務局長

22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会 森事務局長

矢作川流域活動団体（一色川の水辺を美しくする会他 野田氏）

ウ 開催市の取組発表

岡崎市環境保全課 太田副課長

(4) グループ討議について

進行：一般社団法人 J E A N 金子代表理事

テーマ：海と川へのごみの流入を減らすために～活動や施策を考えよう

- 発表内容：①マイレージポイント制・ごみ拾いのスポーツ化・参加すると大学の単位がもらえるなどインセンティブを与え、ごみ回収に参加しやすい仕組みづくりをする
- ②マイクロプラスチックの回収・発生抑制を目指し、国・企業が協働して自然に帰るプラスチックを開発する
- ③ドローンで現状を撮影し、これを教育に活用するとともに、捨てたごみをすぐに捨てられる仕組みを作る
- ④学校教育やショッキングなポスターで海ごみ問題を啓発するとともに、厳罰化してポイ捨てを減らしていく
- ⑤総合的な学習の時間で提案しやすい学習手法を提示し、ポイ捨ての結果何をもたらすのかについての教育を行う など

3 その他

翌日の11月26日(日)にイオンモール岡崎で開催した県民参加型イベント「海ごみ減らそうプロジェクト」でグループ発表の一部を展示した。

<海ごみ減らそうプロジェクトの概要>

参加者：延べ8, 196名

ステージ：ハッシュタグ トーク&ライブ (2回)

愛知県環境学習プログラム 映像上映 (3回)

海ごみにまつわるクイズ大会 (2回)

海ごみで!? ジャグリングパフォーマンス (2回)

谷本賢一郎 トーク&ファミリーコンサート (2回)

愛知県知事あいさつ

ブース：環境ボランティアサークル亀の子隊(海の生き物立体お面づくり・展示)

22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会(ウェルカムボードづくり・展示)

P工房(フォトスタンドづくり)

一般社団法人 J E A N (「みんなの問題・海のごみ」パネル展示)

県ブース(環境学習プログラムを活用したカードゲーム・展示)

<当日の様子>

○フィールドワーク

①猿渡川



②家下川（矢作川との合流地点付近）



○フォーラム



主催者あいさつ（戸澤資源循環推進監）

取組発表（写真は豊橋河川事務所）



グループ討議



グループ発表

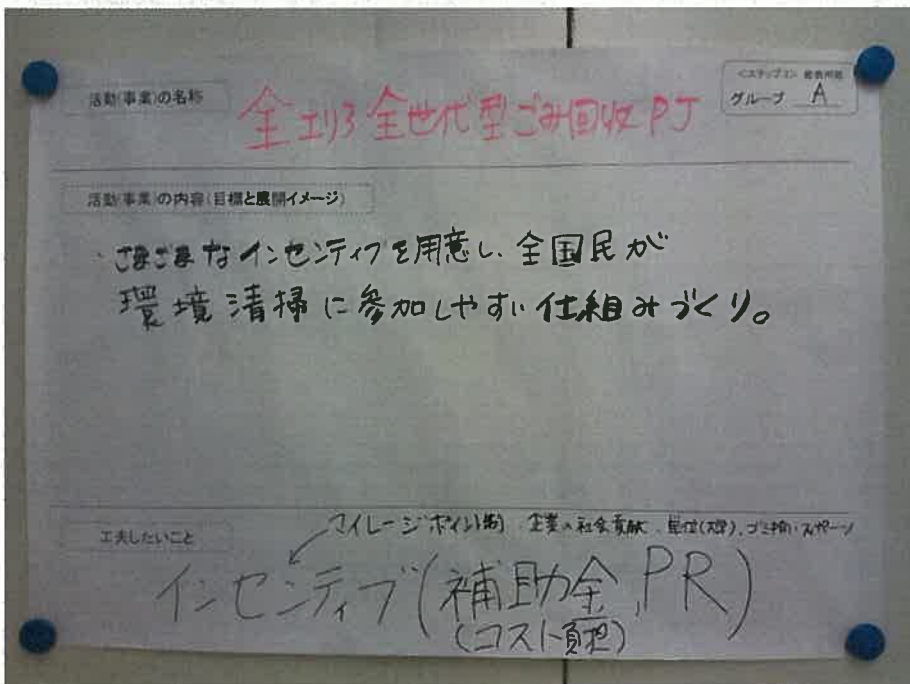


総評（青木座長）

<グループ発表 模造紙>



イオンモール岡崎での展示



活動(事業)の名称 グループ

マイクロプラスチックの回収発生抑制

活動(事業)の内容(目標と展開イメージ)

**国・企業(メーカー)が協働して
#一緒取り組み**

消費者... 値段が高くても
環境にやさしいものを買う
意識作りをしよう

工夫したいこと

**自然にかさるプラスチックの回収
→推進の制度、法の整備**

活動(事業)の名称 グループ D

**地域を巻き込んだ各流域のゴミ
削減**

活動(事業)の内容(目標と展開イメージ)

・環境教育×ドローン
→ 対小学生 + 対地域住民

・行政×コンビニ (ゴール)
→ もっと捨てやすく 伊勢湾
キレイに

工夫したいこと

環境省の補助金など

活動(事業)の名称

グループ

使い捨てプラスチック削減の国民運動

活動(事業)の内容(目標と展開イメージ)

- ・ 持続可能な社会への教育
- ・ 一般の人への啓発
公共の場、ポスター
- ・ 自然、菜はすばらしいと伝える
(エコツアー、エコバーナー、大人の遠足など)

工夫したいこと

最先端と啓発の両輪
活用したい

授業カリキュラム
の策定

「プラスチック」ではなく
「使い捨てプラスチック」
の削減(2023年以降)

川をきれいにしよう
(今はまだ水質が
汚れている)

活動(事業)の名称

グループ A

ゴミ問題の教育

活動(事業)の内容(目標と展開イメージ)

- ・ 長期
総合的学習時間や授業しかり学習手法提示(中期)
理想: 指導要領への紐付(長期)
- ・ 短期
大学生や地域住民等による2時間リレー方式ごみ拾い
※ 事前に張り上げようとしてでの海陸ごみ問題の認知向上

工夫したいこと

短期への移行し注目を中期へ落とし長期への移行